

諸外国における第三国定住難民の就労状況

令和8年4月14日
外務省人権人道課

第三国定住難民の就労状況（韓国）

調査対象：2015年から2022年（第1期～第8期）に韓国に受け入れられた成人第三国定住難民107人
調査期間：2023年3月～5月

（設問） 現在、勤めているか

内訳	計	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
	(107人)	(12人)	(25人)	(16人)	(16人)	(3人)	(9人)	(9人)	(17人)
はい	65人	7人	11人	8人	12人	3人	7人	4人	13人
	61%	58%	44%	50%	75%	100%	78%	44%	76%
いいえ	42人	5人	14人	8人	4人	0	2人	5人	4人
	39%	42%	56%	50%	25%	0%	22%	56%	24%

「はい」と答えた65人のうち、男性が35名、女性が30名。

「いいえ」と答えた42名のうち、男性が12名、女性が30名。

出典：Survey on Resettled Refugees in the Republic of Korea（UNHCR韓国事務所の委託調査）

第三国定住難民の就労状況（英国）

調査対象：英国第三国定住スキーム（UKRS ※）の下で受け入れられた16～64歳の難民

公表：2025年11月17日

※2021年開始

難民の地位を得てからの年数	被雇用者数	失業者数	就業率	失業率
0	80人	1,385人	5.5%	94.5%
1年	180人	1,035人	14.8%	85.2%
2年	130人	530人	19.7%	80.3%

出典：英国内務省